

インフォメーションディスプレイ Vol.27



東邦不動産株式会社
ビル事業部
政木 幸吉 様



東邦不動産株式会社
ビル事業部
飯塚 純 様

栄ガスビル 様

東邦ガスの関連会社である東邦不動産株式会社が運営管理されるビルの一つである栄ガスビル様。名古屋の中心地にある栄・大津通りにあり、「街の顔」として親しまれ普段から多くの方が利用されます。このビルは平成2年6月に建設され、オフィス、商業テナントの他に会議室を運営されています。



所在地：愛知県名古屋市

ビル玄関にあった看板を、リニューアルを機に撤去。
インフォメーションディスプレイで、
美しいエントランスを実現できました。

PN-525
1台導入
(エントランスホール)

栄ガスビル様はグルメ・ファッション・カルチャーなど、快適な都市生活情報を発信するオフィスビルで、名古屋市の中心街、栄地区にあります。ビル内には最大250名を収容できるホールや会議室のほか、多数のオフィスやショップ、飲食店が入居されています。

平成2年6月に建設されて以来今年で丸17年を迎え、街の魅力と活力のアップをめざし7月にリニューアルオープン。これを機に、ビルの内外に設置していた看板やポスターをすべて廃止し、インフォメーションディスプレイ『PN-525』を使った情報発信システムを構築されました。



美しいエントランスホールに設置された
インフォメーションディスプレイ。

導入時の評価ポイント

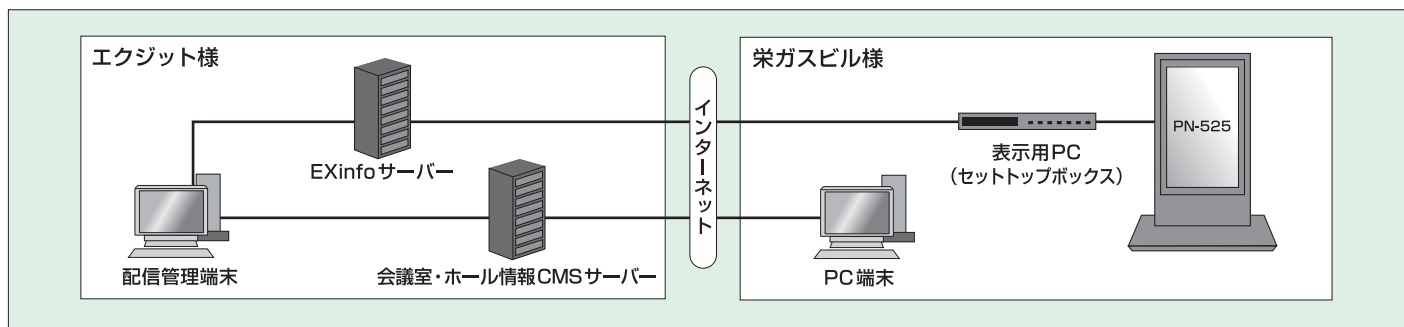
■ さまざまな情報を同時に表示できる
■ 52型の大画面

■ たくさんの文字情報もクッキリと表示できる
■ フルスペックハイビジョン(1,920×1,080画素)の高解像度

■ 環境映像も案内情報も
■ 色鮮やかで美しく表示

■ さまざまな用途や縦置きも可能な
■ 多彩な商品ラインナップ

■ システム概略図



導入の経緯

リニューアルを機に煩雑なエントランスをすっきりと。
美しい陶壁に合うよう、外観も美しくしました。

「玄関周りをスッキリさせるために、インフォメーションディスプレイを導入しました。」と政木様。それまでは、ホールや会議室を利用される方が作成した案内看板をエントランスに設置されていました。

ところが、自由に作成されたものを設置するためエントランスホールが煩雑なイメージになり、修正も簡単にできないことに不満を感じられていました。そこで、リニューアルを機にロビーから看板を撤去。インフォメーションディスプレイによる案内発信システムの導入を決定されました。「(設置にあたり)とにかくシンプルにしたかった」と政木様がおっしゃるように、外観も黒壇による専用のケースで美しく設置されています。というのも、このエントランス

ホールには、人間国宝の故加藤卓夫氏による陶壁「飛翔の詩」があり、それと調和するよう、特別にケースを作成されました。

コンテンツの配信にはエクジット様が開発されたシステムを導入。岡谷鋼機様の提案により配信管理業務をもエクジット様に委託することで運用管理負担を軽減することができました。

会議室の案内のほか、環境映像や、ニュース、天気予報、最寄り駅の案内などがリアルタイムに表示され、さらにテナント情報も流されています。



もう一つのケースにはセットトップボックスとワイヤレスLANのモデムがセットされている。このボックスとディスプレイは、床下に通されたケーブルで接続されている。



家具デザイナーによってデザインされたケースは、タンスのように扉が開閉し、メンテナンスも簡単に行える。

導入後の感想

バラバラだった会議室の案内が、
ディスプレイの導入で美しくまとまりました。

「雑然としたエントランスホールが、かなりきれいにまとまりました。」と政木様。インフォメーションディスプレイの導入によって、情報の発信場所が統一でき、すっきりとしたエントランスホールが実現。美しい

陶壁とあいまって、心地よい空間が構築されています。

また「案内発信システムの導入で、直前でも簡単に修正できるようになり案内間違いもなくなりました。」とおっしゃいます。



岡谷鋼機株式会社 開発本部の伊藤祐二様(左)とエクジット株式会社 企画部の野村充様(右)。

今後の展開予定

新たなコンテンツの導入や、
地域の情報を発信するためのステーションに。

これからの展開として、「地震情報配信サービスなどの配信や地域の情報を発信したい」とおっしゃいます。特に地震情報配信サービスに関しては、インフォメーションディスプレイが「地域情報の発信源として利用

できれば」とお考えの栄ガスビル様。情報の配信方法も含め、地域に密着した新しい構想を検討されているようです。



● お問い合わせは

シャープ株式会社

情報通信事業本部 ビジネスソリューション事業部
電話：(03)3260-8217 / (0743)55-6373

2007年10月発行